

2022年度

事業報告書

附 一般会計収支決算書

附 (2023年度事業計画)
(2023年度一般会計予算)



一般社団法人 津山青年会議所



一般社団法人 津山青年会議所

第65代理事長 森山裕一

事業報告書

津山青年会議所は、先輩方の確固たる想いと情熱のもと、1958年に日本で135番目の青年会議所として誕生し、様々な国難の中でも先輩方がつやまを想い、その時代に即した力強い歩みでひとづくり、まちづくりを行い、弛みない努力と揺るぎない友情で積極果敢に挑戦してこられた尊い年月を経て、本年創立65周年という大きな節目の年を迎えることとなりました。65年という長きにわたり、今日まで連綿と受け継がれてきた歴史、伝統、信頼、また先輩方の想いや情熱を受け継ぎ、2022年度の運動、活動を展開してまいりました。

我が国そして世界を取り巻く環境は大きな変革期にあると言えます。現在の日本はかつて経験したことのない速さで、人口減少と少子高齢化が進行しており特に津山圏域のような地方は、この大きな問題に真っ先に直面している状況にあります。世界においてもこの2年半に及ぶコロナ禍に加え、ウクライナ情勢の悪化、長期化によるエネルギー価格や物価の高騰により経済は深刻な打撃を受け、子供達を取り巻く環境も新しい生活様式への対応を経て大きく変わっています。

このような中、2022年度（一社）津山青年会議所は「不屈不撓 ～限界を決めない熱意と実現する行動力～」をスローガンに

- 積極果敢な挑戦で多様性を磨くひとづくり
- 変化に挑み夢や希望を与えられるリーダーの育成
- 郷土愛が可能性を広げる持続可能なまちづくり
- 生き生きとした未来を築く青少年の健全育成
- 個人と組織の可能性を広げる会員拡大

という5つの基本方針を掲げ、今年もどんなことが起きても決してあきらめることなく、くじけることなく努力と工夫を続け、我々が希望をもたらす変革の起点として、力強い運動、活動でこの地域に活力をあたえていくために、波を読み「リスクヘッジからリスクテイクへ」とコロナ禍3年目を迎えるにあたり限界を決めず様々な挑戦を続けてまいりました。

2022年度は2名の新会員が加わり、年初より新会員研修会を行い課題に向かって同期とともに達成する感動を経験し絆を深めることができました。年初より新型コロナウイルス感染症の変異株が急拡大したことから、新年懇親会は飲食無しの式典形式へと変更させていただき2022年度の方針と体制

を発信させていただきました。

2月25日～4月10日まで、つやま夢明かり庭園実行委員会様と共催という形で、創立65周年記念事業を開催させていただきました。2年ぶりに集合型での事業を開催させていただき、市民の皆様から願いごとを花びらに書いていただき、最終日の点灯式では5色のきれいな願いの花をさかせることができました。

5月15日にはまちづくり事業である、目指せ！衆楽園をモネの池に大作戦～今こそ起こそうムーブメント～を開催させていただき、市民、行政、(一社)津山青年会議所が協力して事業を行いました。当初の計画人数を超える多くのボランティアの応募があり、修正事業計画書を上程し多くの市民の方々と真剣に作業を行い、地域資源を活かすことの大切さや持続可能なまちづくりの促進を考える機会となりました。

6月4日には創立65周年記念式典を開催させていただき、多くのご来賓、特別会員の皆様、各地会員会議所理事長をはじめとするメンバーの皆様にご臨席を賜り、盛大に式典を挙行させていただくことができました。特別会員の皆様には多大なるご支援、ご協力を賜り、我々現役メンバー一同なぜ5年に一度周年というものを開催するのか、その理由を肌で感じさせていただく機会となりました。

7月29～31日には、3年ぶりの青少年健全育成事業である、真夏の大冒険！～仲間と見つける未来への扉～を開催させていただきました。非日常的な環境の中で他人と協力して困難を成し遂げる体験を通じて、仲間や家族の有難さ、自然の楽しさを感じ、他人や自然への思いやりの心を育むことができ、メンバーと感動を共有させていただくことができました。

8月6日には創立65周年記念事業第2弾として、クラウドファンディングで多くの市民の皆様からご支援をいただいて購入したミニSLを津山学びの鉄道館に寄贈させていただき、つやまのもつ魅力を最大限に活用し、多くの人々に共感の輪を広げることができました。8月中旬に入り新型コロナウイルス感染症の感染拡大が広がり、8月19日の納涼会も急遽飲食無しの式典形式へと変更させていただき、本年度の感謝と次年度の理事長予定者、体制を報告させていただきました。

本年度は多くの事業を開催させていただきましたが、これもこの2年間新型コロナウイルス感染症による活動の自粛や、様々な困難を乗り越え、あきらめずに挑戦を重ねてきた経験の積み重ねの賜物であると感謝をしております。本当に多くの事業をメンバー一丸となって協力して開催することができた1年でありました。

最後になりますが、(一社)津山青年会議所の運動、活動にご理解、ご協力、また多くのご支援を賜りました全ての皆様に心より感謝を申し上げますと共に、今後も変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます、ご報告とさせていただきます。

一年間ありがとうございました。

理事長公職一覧

名 称	役 職	名 称	役 職
岡山県社会教育委員連絡協議会	委 員	津山市人権尊重の教育推進協議会	幹 事
「社会を明るくする運動」津山市推進委員会	常任委員	津山市スポーツ協会	委 員
津山観光キャンペーン推進会議	委 員	津山市男女共同参画まちづくり審議会	委 員
津山ガン対策協議会	委 員	津山市中心市街地活性化協議会	会 員
津山空路利用促進協議会	監 事	津山市手をつなぐ育成会	代議員
津山警察署管内暴力追放推進協議会	委 員	津山市ファシリティマネジメント委員会	委 員
津山圏域定住自立圏共生ビジョン懇談会	委 員	津山市文化振興事業基金運営委員会	委 員
津山さくらまつり実行委員会	実行委員	津山市文化振興ビジョン検討委員会	委 員
つやま産業支援センター運営協議会	委 員	津山納涼ごんごまつり実行委員会	副委員長
津山サンタフェ友好協会	監 事	公益財団法人津山文化振興財団	理 事
津山私学教育振興連絡会議	委 員	津山防衛協会	副会長
公益社団法人津山市観光協会	理 事	津山まつり実行委員会	委 員
津山市献血推進委員会	委 員	美作地区中学校野球選手権大会	副会長
津山市交通安全対策協議会	委 員	特定非営利活動法人つやまNPO支援センター	理 事
津山市市民憲章推進協議会	副会長		
津山市社会教育委員会	委 員		
津山市社会福祉協議会	評議員		
津山市生涯学習推進会議	委 員		

組 織

1. 正会員

2021 年度末会員数	42 名
2022 年度新加入者数	2 名
2022 年度中途退会者数	2 名
2022 年度卒業者数	8 名
2022 年度末会員数	34 名

会員移動明細

区分	氏名	勤務先	役職
新加入者	山本 右己	山本建装	代表
	玉田 林太郎	株式会社JTE	代表取締役

2022年度限退会者

区分	氏名	勤務先	役職
年限退会者	岡本 誠	おからくミート(株)	取締役専務
	金田 長一郎	(株)金田建装	代表取締役
	永禮 誠	(有)永礼鉄工所	
	西山 圭	Style one DESIGN	代表
	早瀬 久善	(株)早瀬食品	
	平岡 大樹	(株)山手屋	代表取締役
	山田 圭介	(株)メディウエル	取締役
	山本 竜義	山本建材(株)	代表取締役

2022年度退会者

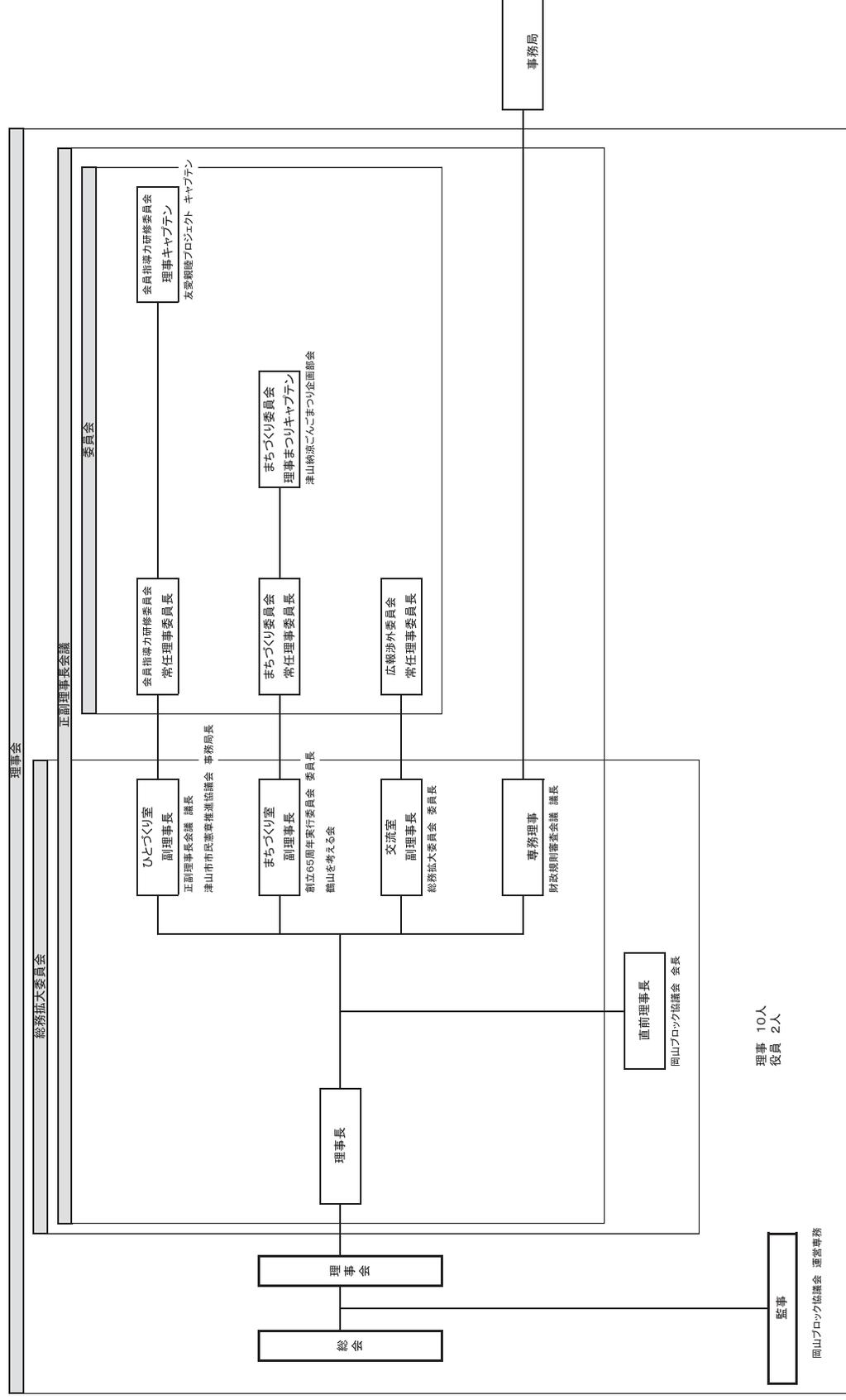
佐古 厳美
福島 有梨

2. 特別会員 2022年度末会員数 387人

2022年度 一般社団法人 津山青年会議所 理事・役員名簿

理事	森山 裕一	(岡山ブロック協議会 会長)(全国城下町青年会議所連絡協議会 会長)
直前理事	山本 竜義	(正副理事長会議 議長)(津山市民憲章推進協議会 事務局長)
副理事	豊福 和也	(創立65周年実行委員会 実行委員長)(日本青年会議所 社会G ビジネスコーディネーター会議 議員)(鶴山を考える会)
副理事	松田 小笠原翔太	(総務拡大委員会 委員長)(中国地区協議会 総務委員会 委員長)(広報渉外委員会 常任理事委員長)
専務理事	岡本 孝男	(財政規則審査会議 議長)
会員指導力研修委員会 常任理事委員長	藤本 裕文	
まちづくり委員会 常任理事委員長	眞木 祐治	
まちづくり委員会 理事まつりキャブアテン	芦田 雅嗣	
会員指導力研修委員会 理事キャブアテン	永禮 誠	
監事	金田 長一郎	
監事	赤本 淳	
(出向者)	森岡 寛人	(岡山ブロック協議会 会長)(全国城下町青年会議所連絡協議会 会長)
日本青年会議所	西山 圭	(社会G ベビーファースト委員会 委員)
中国地区協議会	小倉 美穂	(総務委員会 委員長 幹事)
中国地区協議会	山岡 稔尚	(総務委員会 委員長 幹事)
中国地区協議会	入木 圭	(総務委員会 委員長 幹事)
岡山ブロック協議会	國米 智洋	(事務局長)
岡山ブロック協議会	山田 康太	(総括幹事)
岡山ブロック協議会	山本 莉彩	(会長 幹事)
岡山ブロック協議会	森本 晋治	(会長 幹事)
岡山ブロック協議会	大上 大輔	(会長 幹事)
岡山ブロック協議会	神崎 繪理	(会長 幹事)
岡山ブロック協議会	西村 誠	(拡大プランディング会議 副議長)
岡山ブロック協議会	岡本 幸一	(拡大プランディング会議 議長)
岡山ブロック協議会	松島 健	(会員研修委員会 委員)
岡山ブロック協議会	延原 奈京	(会員研修委員会 委員)
岡山ブロック協議会	朝比奈京平	(愛溢れる岡山創造委員会 委員)
岡山ブロック協議会	藤井 克巳	(愛溢れる岡山創造委員会 委員)
岡山ブロック協議会	福島 有梨	(愛溢れる岡山創造委員会 委員)
全国城下町青年会議所連絡協議会	平岡 大樹	(運営専務)
全国城下町青年会議所連絡協議会	杉本 諭隆	(事務局長)
全国城下町青年会議所連絡協議会	河本 啓彰	(会長 幹事)
全国城下町青年会議所連絡協議会	佐古 厳美	(会長 幹事)
全国城下町青年会議所連絡協議会	前田 哲弥	(会長 幹事)

2022年度(一社)津山青年会議所 組織図



2022年度(一社)津山青年会議所 所屬表

理事長 森山 裕一	直前理事長 山本 竜義	副理事長 豊福 祥旗	副理事長 松田 和也	副理事長 小笠原 翔太	監事 金田 長一郎	監事 赤木 淳
専務理事 岡 孝男	委員長 小笠原 翔太	副委員長 山本 竜義	幹事 岡 孝男	委員 森山、豊福、松田		
ひとつくり室 副理事長 豊福 祥旗	会員指導力研修委員会	副委員長 藤本 裕文	幹事 延原 健 松島 幸一	委員 早瀬、平岡、山田、西山(圭)、小倉、永禮、末永		友愛親睦プロジェクト 理事キャプテン 永禮 誠
ひとつくり室 副理事長 松田 和也	まちづくり委員会	副委員長 眞木 祐治	幹事 藤井 克巳 朝比奈 京平	委員 杉本、芦田、山本(康)、上山、福島、森本、斎藤、前田、山本(右)		理事まったりキャプテン 芦田 雅嗣
交流室 副理事長 小笠原 翔太	広報渉外委員会	副委員長 河本 啓彰 西村 総理	幹事 神崎	委員 國米、森岡、岡本、佐古、西山(泰)、山岡、玉田		
理事会	直前理事長会議	議長 豊福 祥旗	議長 森山、松田、小笠原、岡、藤本、眞木、山岡、芦田、永禮、延原、松島、藤井、朝比奈、河本、西村			
委員会	創立65周年実行委員会	実行委員長 松田 和也	幹事 豊福 祥旗 小笠原 翔太	委員 藤本、眞木、芦田、永禮		
	財政規則審査会議	議長 岡 孝男	議長 藤本、眞木、永禮、延原、松島、藤井、朝比奈、河本、西村			
	岡山ブロック協議会	会長 山本 竜義	専務局長 金田 長一郎	幹事 山田	幹事 山本(康)、森本、大上、神崎	
出向	(公社)日本青年会議所 経済ウエルビーイング経営委員会 会計幹事 岡本、西村	社会G&Pアドバイザー委員会 委員 西山(圭)	社会G&Pアドバイザー委員会 委員 西山(圭)	中国地区協議会 副会長 山本(竜)	幹事 小倉、山岡、入木	一般社団法人 津山青年会議所 〒708-0022 岡山県津山市山下30-9 (津山商工会館内4階) TEL: (0868)22-6713
	津山納涼ごんごまつり	未光輝く人財育成委員会 芦田、永禮	愛される岡山創造委員会 朝比奈、藤井、福島	全国城下町青年会議所連絡協議会 会長 山本(竜)	幹事 河本、佐古、前田	
	芦田、上山、小倉、西山(康)、福島、森本、山本(康)、山本(右)、前田、山岡、山本(右)、玉田	津山納涼ごんごまつり 事務局 藤本、眞木	津山納涼ごんごまつり 事務局 藤本、眞木			
	津山納涼ごんごまつり 事務局 藤本、眞木	津山納涼ごんごまつり 事務局 藤本、眞木	津山納涼ごんごまつり 事務局 藤本、眞木			
	津山納涼ごんごまつり 事務局 藤本、眞木	津山納涼ごんごまつり 事務局 藤本、眞木	津山納涼ごんごまつり 事務局 藤本、眞木			FAX: (0868)25-1415

2022年度 事業報告

◎総会例会

月 日	内 容	会 場
1月19日	1月例会・定時総会 定時総会 ○第1号議案 2021年度事業報告書(案)、収支決算書(案)について ○第2号議案 2022年度一般社団法人津山青年会議所収支予算書(案)について	津山鶴山ホテル
2月19日	2月例会 まちづくり委員会による例会事業 講師：津山市地域振興部地域づくり推進室 主任 田中 陽子様 岡本農園 代表 岡本 俊則様 「国際交流についての諸問題に関する 例会企画書及び例会企画収支予算書について」	津山鶴山ホテル
3月19日	3月例会 広報渉外委員会による例会事業 「魅せる情報発信」	津山鶴山ホテル
4月19日	4月例会 会員指導力研修委員会による例会事業 JCI日本公認プログラム「JAPAN PRIDE」	津山鶴山ホテル
5月19日	5月例会 創立65周年実行委員会による例会事業 講師：光岡 宏文先輩 「周年に対する心構え」講演	津山鶴山ホテル
6月19日	6月例会 臨時総会 ○次年度理事選考委員選出について申し合わせ事項の確認 ○次年度理事選考委員選出について ごんごまつり企画部会による例会事業 「STEP FORWARD 今年こそ開催! 第44回津山納涼ごんごまつりIN吉井川」	津山鶴山ホテル
7月19日	7月例会 臨時総会 ○第1号議案 次年度理事長選出について 広報渉外委員会による例会事業 「会員拡大の実施推進」	津山鶴山ホテル
8月19日	8月例会	津山鶴山ホテル
9月19日	9月例会 会員指導力研修委員会による例会事業 卒業予定者スピーチ 2名	津山鶴山ホテル

10月19日	10月例会 会員指導力研修委員会による例会事業 卒業予定者スピーチ 3名	津山鶴山ホテル
11月18日	11月例会 会員指導力研修委員会による例会事業 卒業予定者スピーチ 3名	津山鶴山ホテル
12月19日	12月例会 定時総会 ○第1号議案 2022年度補正予算書(案)について ○第2号議案 2023年度理事・役員承認について ○第3号議案 2023年度事業計画(案)について	津山鶴山ホテル

◎理事会

月 日	審/協	議 案 名	会 場
1月10日	審議 1	新会員の研修に関する事項に関する事業計画書(案)(研修編)について	津山商工会館議員室
	審議 2	新年懇親会の企画・設営・実施に関する事業計画書(案)について	
	審議 3	創立65周年記念事業の統括管理に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について(創立65周年記念 理事長座談会)	
	審議 4	創立65周年記念事業の統括管理に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について(各地でのPR)	
	協議 1	創立65周年記念事業の統括管理に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について(創立65周年記念事業)	
1月18日	審議 1	新年懇親会の企画・設営・実施に関する修正事業計画書(案)について	メール会議
2月9日	審議 1	創立65周年記念事業の統括管理に関する事業計画書(案)及び事業収支予算(案)について(創立65周年記念事業)	津山商工会館議員室
	協議 1	まちづくり委員会：地域活性化のための諸問題に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について	
3月9日	審議 1	地域活性化のための諸問題に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について	メール会議
	審議 2	渉外に関する事項(京都会議)に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について	
	協議 1	創立65周年記念事業の統括管理に関する事業計画書(案)及び事業収支予算(案)について(創立65周年記念式典及び祝賀会の企画・運営)	
	協議 2	新年懇親会、納涼会、望年会・卒業式の企画・設営・実施に関する修正事業計画書(案)及び事業収支補正予算書(案)について	

3月9日	協議	3	新年懇親会、納涼会、望年会・卒業式の企画・設営・実施に関する事項に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について	メール会議
	協議	4	青少年、教育のための諸問題に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について	
	協議	5	渉外に関する事項(京都会議)に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について	
4月8日	審議	1	創立65周年記念事業の統括管理に関する事業計画書(案)及び事業収支予算(案)について(創立65周年記念式典及び祝賀会の企画・運営)	津山商工会議所 議員室
	審議	2	創立65周年記念事業に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について	
	審議	3	4月例会時間変更の件について	
	審議	4	新会員の研修に関する事項に関する修正事業計画書(案)及び事業収支補正予算書(案)について(導入編)	
	審議	5	新会員の研修に関する事項に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について(導入編)	
	審議	6	地域活性化のための諸問題に関する修正事業計画書(案)及び事業収支補正予算書(案)について	
	審議	7	青少年、教育のための諸問題に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について	
	協議	1	新年懇親会、納涼会、望年会・卒業式の企画・設営・実施に関する修正事業計画書(案)及び事業収支補正予算書(案)について	
	協議	2	会員相互の友愛親睦及び体育厚生に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について	
4月21日	審議	1	創立65周年記念事業の統括管理に関する修正事業計画書(案)及び事業収支修正予算書(案)について(創立65周年記念 理事長座談会)	メール会議
5月9日	審議	1	6月例会日程変更の件	津山商工会議所 議員室
	審議	2	入会、休会及び希望退会の受付並びに自動退会及び除名の取り扱いに関する事項について	
	審議	3	創立65周年記念事業の統括管理に関する修正事業計画書(案)及び事業収支修正予算(案)について(創立65周年記念式典及び祝賀会の企画・運営)	
	審議	4	新年懇親会、納涼会、望年会・卒業式の企画・設営・実施に関する修正事業計画書(案)及び事業収支補正予算書(案)について	

5月9日	審議	5	新年懇親会、納涼会、望年会・卒業式の企画・設営・実施に関する事項に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について	津山商工会議所 議員室
	審議	6	新会員の研修に関する事項に関する修正事業計画書(案)及び事業収支補正予算(案)について(研修編)	
	審議	7	新会員の研修に関する事項に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について(研修編)	
	審議	8	青少年、教育のための諸問題に関する修正事業計画書(案)及び事業収支修正予算書(案)について	
	協議	1	会員相互の友愛親睦及び体育厚生に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について	
5月13日	審議	1	地域活性化のための諸問題に関する再修正事業計画書(案)について	メール会議
6月9日	協議	1	8月例会時間変更の件	津山商工会議所 議員室
	協議	2	新年懇親会、納涼会、望年会・卒業式の企画・設営・実施に関する事項に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について(納涼会)	
7月11日	審議	1	入会、休会及び希望退会の受付並びに自動退会及び除名の取り扱いに関する事項について	津山商工会議所 議員室
	審議	2	創立65周年記念事業の統括管理に関する報告書(案)及び事業収支決算書(案)について(創立65周年記念事業 願いの花を咲かせよう)	
	審議	3	創立65周年記念事業の統括管理に関する事業計画書及び事業収支予算書について(創立65周年記念誌)	
	審議	4	8月例会時間変更の件について	
	審議	5	新年懇親会、納涼会、望年会・卒業式の企画・設営・実施に関する事項に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について(納涼会)	
8月9日		1	審議事項無し	津山商工会議所 議員室
9月9日	審議	1	11月例会日変更の件について	津山商工会議所 議員室
	審議	2	創立65周年記念事業の統括管理に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について(各地でのPR)	
	協議	1	創立65周年記念事業の統括管理に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について(創立65周年記念 理事長座談会)	
	協議	2	創立65周年記念事業に関する修正事業計画書(案)及び事業収支補正予算書(案)について(ROKU、GO、TRAIN)	
	協議	3	創立65周年記念事業に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について(ROKU、GO、TRAIN)	
	協議	4	12月例会時間変更の件について	

9月9日	協議	5	望年会の企画・設営・実施に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について	津山商工会館議員室
9月19日	審議	1	9月例会日変更の件について	メール会議
	審議	2	9月例会時間変更の件	
10月12日	審議	1	創立65周年記念事業の統括管理に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について(創立65周年記念 理事長座談会)	津山商工会館議員室
	審議	2	創立65周年記念事業に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について(ROKU、GO、TRAIN)	
	審議	3	望年会の企画・設営・実施に関する事業計画書(案)及び事業収支予算書(案)について	
	審議	4	地域活性化のための諸問題に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について	
	審議	5	青少年、教育のための諸問題に関する修正事業計画書(案)及び事業収支補正予算書(案)について	
	審議	6	青少年、教育のための諸問題に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について	
	協議	1	創立65周年記念事業の統括管理に関する修正事業計画書(案)及び事業収支補正予算書(案)について(創立65周年記念式典及び祝賀会の企画・運営)	
	協議	2	創立65周年記念事業の統括管理に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について(創立65周年記念式典及び祝賀会の企画・運営)	
11月9日	審議	1	新会員の件について	津山商工会館議員室
	審議	2	創立65周年記念事業の統括管理に関する修正事業計画書(案)及び事業収支補正予算書(案)について(創立65周年記念式典及び祝賀会の企画・運営)	
	審議	3	創立65周年記念事業の統括管理に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について(創立65周年記念式典及び祝賀会の企画・運営)	
	審議	4	納涼会の企画・設営・実施に関する事業計画書及び事業収支補正予算書(案)について	
	審議	5	納涼会の企画・設営・実施に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について	
12月9日	審議	1	2023年度(一社)津山青年会議所特別会員承認について	津山商工会館議員室
	審議	2	2022年度(一社)津山青年会議所補正予算書(案)について	
	審議	3	2023年度(一社)津山青年会議所事業計画(案)承認について	
	審議	4	2023年度(一社)津山青年会議所予算書(案)承認について	
	審議	5	1月例会時間変更の件(案)について	

12月9日	協議	1	新年懇親会、納涼会、望年会・卒業式の企画・設営・実施に関する事業計画書(案)及び事業予算書(案)について(新年懇親会)	津山商工会館議員室
	協議	2	会員開発に関する事項に関する事業計画書(案)及び事業予算書(案)について	
	協議	3	広報に関する事項に関する事業計画書(案)及び事業予算書(案)について	
12月19日	審議	1	創立65周年記念事業の統括管理に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について(創立65周年記念誌)	津山鶴山ホテル
	審議	2	創立65周年記念事業の統括管理に関する修正事業計画書(案)及び事業収支補正予算書(案)について(全体議案)	
	審議	3	創立65周年記念事業の統括管理に関する事業報告書(案)及び事業収支決算書(案)について(全体議案)	
	審議	4	会員開発に関する事項に関する事業計画書(案)及び事業予算書(案)について	
12月26日	審議	1	新会員の件について	メール会議

1月 1日	津山商工会議所新年互例会(シロヤマテラス)
1月10日	理事会・新会員バッジ授与式(津山商工会館議員室)
1月12日	岡山JC新年賀詞交換会(岡山国際ホテル)
1月17日	津山JCOB総会
1月18日	2021年度期末監査
1月19日	例会・定時総会・新年懇親会(津山鶴山ホテル)
1月20日	京都会議~23日
2月 8日	新会員研修会
2月15日	市民憲章事業 献花
2月18日	県北4JC合同役員会議
2月19日	例会
2月24日	創立65周年記念事業共済事業「つやま夢灯り庭園」~4月8日
3月13日	新会員研修会
3月18日	県北4JC合同役員会議
3月19日	例会
3月22日	創立65周年記念 理事長座談会(延期)
3月26日	日本青年会議所総会
4月 8日	「つやま夢灯り庭園~願いの花を咲かせよう~」~4月9日
4月11日	第2例会・岡山ブロック協議会会長公式訪問・県北4JC合同例会
4月13日	創立65周年PRキャラバン (一社)諫早青年会議所 例会
4月16日	創立65周年PRキャラバン (一社)出雲青年会議所 例会(ZOOM)
4月19日	例会
4月23日	岡山ブロック協議会2022年度新会員研修会
4月26日	日本青年会議所会頭公式訪問
4月30日	岡山ブロック会員懇親野球大会
5月11日	創立65周年PRキャラバン (公社)岡山青年会議所 例会
5月13日	岡山ブロックじゃがいも大会
5月14日	(一社)出雲青年会議所 創立60周年記念ゴルフコンペ
5月15日	目指せ!衆楽園をモネの池に大作戦~今こそ起こそうムーブメント~
5月16日	津山YEG・津山JC交流会 野球交歓試合
5月19日	例会
5月23日	創立65周年PRキャラバン (一社)宮古青年会議所 例会(ZOOM)
5月26日	ASPAC堺高石大会~ 29日
6月 3日	創立65周年記念(一社)宮古青年会議所歓迎会
6月 4日	創立65周年記念式典(祝賀会中止)
6月 5日	岡山ブロックアカデミー
6月17日	倫理法人会 講師講演
6月19日	中国地区コンファレンス in 松江
6月20日	例会
6月25日	目指せ!衆楽園をモネの池に大作戦~今こそ起こそうムーブメント~報告会及び検討会
6月28日	(一社)出雲青年会議所 理事長交流会(大山平原CC)
6月29日	総務拡大委員会 異業種交流会
7月 2日	岡山ブロック大会
7月 7日	(一社)宮古青年会議所 理事長交流会(パームヒルズリゾートGC)

7月 8日	真夏の大冒険!~仲間と見つける未来への扉~サポーター研修会
7月 9日	津山納涼ごんごまつりIN吉井川~ 10日
7月13日	県北4JCじゃがいも大会
7月14日	鶴山を考える会例会
7月16日	サマーコンファレンス2022~ 17日
7月19日	例会
7月20日	中間監査
7月21日	創立65周年実行委員会 拡大委員会
7月23日	真夏の大冒険!~仲間と見つける未来への扉~団結式・保護者説明会
7月25日	総務拡大委員会 異業種交流会
7月29日	真夏の大冒険!~仲間と見つける未来への扉~ ~31日
8月 6日	創立65周年記念事業 「ROKU GO TRAIN」
8月19日	例会、納涼会
8月20日	総務拡大委員会 異業種交流会
8月26日	全国城下町シンポジウム福山大会~29日
9月 4日	(一社)備前青年会議所 55周年式典
9月 8日	会員交流事業フットサル大会「豊福牛カップ」
9月10日	観月と邦楽の夕べ
9月10日	(一社)笠岡青年会議所 65周年式典(対外招待無し)
9月15日	岡山JC津山JC交歓会
9月19日	例会(台風延期)
9月20日	県北4JC 合同役員会議
9月21日	例会
9月24日	(一社)総社青年会議所 55周年記念式典(スポンサーのみ招待)
9月25日	岡山ブロックサッカー大会
9月26日	2021年度委員会運営・会計説明会(第一会議室)
10月 2日	(一社)高梁青年会議所 50周年記念式典
10月 7日	日本青年会議所総会並びに日本青年会議所全国大会大分大会~9日
10月19日	例会
11月 2日	2022年度入会予定者面接会(津山商工会議所)
11月 3日	世界会議 沖縄サテライト会場参加~4日
11月21日	例会
11月23日	岡山ブロック協議会2022年度岡山ブロック本今年度合同引継式
11月27日	OB会ゴルフコンペ並びに卒業生追出しコンペ(久米CC)
12月 6日	岡山ブロック協議会 2022年度本今年度引継式 岡山ブロックAWARD・卒業式
12月11日	県北4JC本今年度合同役員会議(津山鶴山ホテル)
12月13日	2023年度入会予定者及び理事役員予定者顔合わせ会
12月19日	新会員研修会・例会・定時総会・望年会・卒業式(津山鶴山ホテル)



2022年度 報告書

直前理事長
岡山ブロック協議会 会長
全国城下町青年会議所連絡協議会 会長
山本 竜義

本年度は直前理事長、また岡山ブロック協議会会長、全国城下町青年会議所連絡協議会会長として充実した一年を過ごさせていただきました。

14年目のラストイヤーとなる2022年度は直前理事長として、昨年理事長をさせていただき、全国城下町シンポジウムを開催させていただいたことや、今まで先輩方にご指導いただいたことなど、私が経験させていただいたことを少しでもメンバーの皆さんにお伝えしたいという想いで一年間邁進をいたしました。

会長として出向をさせていただきました岡山ブロック協議会では「誰もが輝き愛溢れる岡山の創造」を基本理念に掲げ、〈共感を広げる会員拡大〉〈成長につなぐ会員研修〉〈地域の未来を担う青少年の健全育成〉〈愛溢れる岡山の創造〉と4つの運動方針で一年間運動を展開しました。年当初は新型コロナウイルスの影響もありましたが、研修事業2事業、交流事業1事業、対外事業が4事業、そして岡山ブロック大会も通常開催させていただくことができ、この2年間岡山ブロック協議会としても、通常通りの運動が展開できていなかった中、本年は15 LOMのご協力もいただき多くの事業を開催することができましたし、LOMの垣根を超えたメンバー同士の交流の場も沢山作ることができました。何より私自身が多くのメンバーと一生涯の絆を育ませていただきましたし、素晴らしい経験をさせていただいたと思っております。

そして、全国城下町青年会議所連絡協議会会長としても出向させていただきました。本年は(一社)福山青年会議所主管のもと、8月27日から2日間にかけて、第41回全国城下町シンポジウム福山大会を開催しました。「伝統と創造～新たな時代へともに行こう いざ出陣～」のスローガンのもと、地域(まち)の人達とともに、地域(まち)の持つ可能性を見出すための機会とするため、JC・行政・市民が一体となり、福山城築城400年という記念すべき年にふさわしい素晴らしい大会となりました。参加いただいた皆様にとっても、福山の歴史、伝統、文化に溢れる魅力をしっかりと感じていただき、城下町の歴史的風致を見直すきっかけとなり、全国各地の城下町のまちづくり運動の原動力に繋がったと確信をしております。

本年一緒に出向をしてくれた、岡山ブロック協議会、金田運営専務、國米事務局長、山田総括幹事をはじめとする幹事団の皆さん、全国城下町青年会議所連絡協議会、平岡運営専務、杉本事務局長、幹事団の皆さんには一年間本当にお支えをいただきましたこと改めて心から感謝を申し上げます。本当に最高の一年を過ごすことができました。

そして14年間のJCライフで、ともに活動をさせていただいた多くの先輩方、メンバーの皆さんに感謝と御礼を申し上げ、報告とさせていただきます。



副理事長
正副理事長会議 議長
津山市市民憲章推進協議会 事務局長
豊福 祥旗

本年ひとつづくり室は、理事長の掲げる不屈不撓限界を決めない熱意と実現する行動力をスローガンに会員に成長の機会を与えるため運動、活動を推進してきました。

役職としては、1年間に渡り正副理事長会議の議長をさせていただきました。津山青年会議所の運動を行うための要である事業計画を見させていただき、議案と向き合ってきた委員長、副委員長、キャプテン、そして委員会メンバーの皆様の一年間の成長を感じることができました。議案を作る難しさだけではなく、人を頼ること、信頼されること、向き合い続けることの大切さと儂さとその先にある希望へと足掻くことなど、様々な経験を得ることができたと思います。また、津山市市民憲章事務局長として、市民の皆様との関りももたせていただきました。一年を通して、私自身も人を導く難しさなど、多くの経験をいただきました。最後になりましたが、一年間ひとつづくり運動、活動を支えていただいた会員の皆様、ご協力いただきました関係者の方々に心から感謝申し上げます。

また、本年度は、中国地区からの地区出向という形で、公益社団法人日本青年会議所経済グループスポーツの力委員会に出向させていただきました。JCカップU-11少年少女サッカー大会の実施とスポーツを通じた企業の成長をミッションとし、企業に赴きスポーツから学ぶ機会を企業に推進する活動をしてまいりました。約100名の委員会メンバーとともに、活動することはJCにおいては初めてで、そのスケールの大きさと活動するメンバーのパワフルさに感銘を受けました。最後になりますが、関わっていただいた全国のこどもたちの健やかな成長を祈念するとともに、出向するにあたり活動を支えていただいた会員の皆様、ご協力いただきました関係者の方々に心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。





副理事長
 創立65周年実行委員会 実行委員長
 鶴山を考える会
 日本青年会議所 社会G ビジヨナリーシティ会議 議員
 松田 和也

本年度は創立65周年実行委員会実行委員長という大きな担いをいただきました。実行委員長を担わせていただくにあたり、創始からの想いや歴史を紐解き、「明るい豊かな社会」を実現すべく先輩方の成し遂げられた偉業を再確認することで、改めて先輩方や地域の皆様、同志への感謝をさせていただく機会となりました。そして創立65周年のスローガン「活望～誰もが希望をもち活躍し、真に必要とされる組織へ～」のもと、津山青年会議所が今後も地域へ影響力のある団体であり続けるためにメンバー全員で様々な運動・活動を展開して参りました。また新たな中期ビジョンに「VIVID TSUYAMA ひとに気づきとまちに築きを」掲げ、2つの記念事業を実施することができました。「ひとに気づき」を体現するため、つやま夢灯り庭園に共催し、「願いの花を咲かせよう」の事業を実施しました。つやま夢灯り庭園開催期間中の来場者約6,400名の方に津山への願いを花びらに記載いただき、ライトアップすることができました。「まちに築き」では、ハード面の提供に挑戦し、「ROKU GO TRAIN」を開催しました。クラウドファンディングにて約160万円の寄付を集め、ミニSLを購入し、津山まなびの鉄道館に寄贈することで、津山がもつ津山まなびの鉄道館の魅力を最大化し、地域の人たちをはじめ多くの人々に共感の輪を広げることができました。また理事長座談会、記念式典、記念誌の発刊と対内、対外へと発信する事業を年間通して実施することができました。こうした創立65周年の一年を走り抜けることができたのも、特別会員の皆さまから

のご支援ご鞭撻あつてのことだと感じております。歴史・伝統・信頼を築き上げてこられた先輩方をはじめ、多くの皆様方からご協力いただきましたことに心より御礼申し上げます。



□決算報告

ROKU GO TRAIN	1,690,784 円
創立65周年記念式典	3,673,659 円
65周年記念誌	645,822 円
つやま夢灯り庭園～願いの花を咲かせよう～	350,292 円
	6,360,557 円



副理事長
 総務拡大委員会 委員長
 広報渉外委員会 常任理事委員長
 中国地区協議会 総務委員会 委員長
 小笠原 翔太

2022年度は交流室副理事長として広報渉外委員会を担当し、総務拡大委員会委員長を兼任し、森山理事長の掲げられた「不屈不撓～限界を決めない熱意と実現する行動力～」を体現するために一年間取り組んでまいりました。

担当をしておりました広報渉外委員会については諸事情により委員長予定者が志半ばで退会することとなったため、委員長を兼任する形となりました。委員会運営に関しましては委員長予定者の意志を継いだ2名の副委員長が中心となり、広報活動と各種渉外の準備、設営を行いました。広報活動ではホームページやSNSを活用して津山青年会議所の情報発信を行うことで地域の方に私たちの運動、活動を知っていただくとともにに行っている運動の効果を上げてまいりました。またデジタル化社会が加速し、情報発信においてデジタルツールの活用が必須となるなかで、青年経済人としてソーシャルメディアの効果的な活用法やコンテンツの成功事例を学ぶことで、会員の事業所発展を目指し、3月例会事業として「魅せる情報発信」を開催し、情報発信への意識を醸成しました。そして各種渉外においては現地参加を基本とし、新型コロナウイルス感染症の影響により急遽WEB開催となった1月の京都会議以降はすべて現地参加を行うことができ、渉外を通じた学びをメンバーで共有することが出来ました。総務拡大委員会では入会者15名を目指して一年間拡大に取り組んでまいりましたが結果として4名の入会となり、さらに年度途中で2名の退会者、3名の休会者が出る事態となり、力不足とその責任を痛感しております。

最後になりますが一年間ご協力をいただきました皆様に感謝を申し上げますと共に本年度の経験を次年度に繋げていくことをお誓い申し上げ報告とさせていただきます。

また、中国地区協議会 総務委員会へ委員長として出向し、会議等の設営とASPAC開催支援事業、褒賞事業、JCカップU-11少女サッカー大会中国地区予選を担当しました。会議の設営に関しては一緒に出向してくれた幹事を中心に開催地LOMにもご協力をいただき、役割を全うすることが出来ました。また担当した3事業共に日本青年会議所の担当委員会と連携し、中国地区内のLOMにご協力をいただき、滞りなく実施することが出来ました。多くの出会いとご協力に感謝を申し上げます報告とさせていただきます。





会員指導力研修委員会 常任理事委員長
藤本 裕文

本年度、会員指導力研修委員会では、森山理事長のスローガンである「不屈不撓 ～限界を決めない熱意と実現する行動力～」をもとに委員会運営を行ってまいりました。

まず、2021年12月20日より新会員研修（導入編）をスタートさせました。昨年に続きコロナ禍での研修となりましたが、リアル開催でのアトラクション練習を実施しました。紆余曲折があるなかでも、当初より優秀であった新会員2名（玉田君、山本君）は力を合わせて連日の練習に励み、絆を深めることになったと感じました。

1月19日には、3年ぶりとなる新年懇親会を開催しました。コロナ禍で欠席が生じたことは残念でしたが、飲食無しで感染症対策を徹底したことで久々に集えたことを喜ぶ声も多くいただきました。また、ご参加いただいた皆様の前で新会員のアトラクション披露が叶ったことが何より嬉しいことでした。

翌日より、新会員研修（研修編）をスタートさせました。新会員が日を追うごとに目に見えて成長していくのを肌で感じました。JCLームに立ち寄ると、自発的に調査をしていた新会員に偶然出くわすことがあり、その姿を目の当たりにして本当に嬉しく、自分にこんな感情が湧くとは思いませんでした。新会員研修を通して私たち自身の成長にもつながっていることを感じました。

8月19日には納涼会を開催しました。65周年記念式典において私自身がコロナ陽性で欠席となり、皆様にご迷惑をおかけしたことが本当に悔しく、なんとしても納涼会だけは成功させてみせるという強い思いがありました。例のごとく開催を目前にコロナウイルス陽性者が増加し、飲食無しでの開催となりましたが、特別会員の皆様からも「とても良かった」と温かいお言葉をいただくことができました。

そして、12月19日には最後の事業となる望年会・卒業式を開催しました。頭を悩ませた期間もありましたが、最後は卒業予定者を含めるすべての現役メンバーにとって「良かった」と思ってもらえる望年会を目指しました。課題も残りますが、閉会後に皆様一人ひとりからいただいた言葉は決して忘れられないほど嬉しいものでした。

森山理事長のもと、素晴らしい委員会メンバーを配属していただき、会員指導力研修委員会の常任理事委員長を務めさせていただけて本当に幸せでした。

最後になりましたが、お支えいただいたすべての皆様に感謝を申し上げます。一年間本当にありがとうございました。



まちづくり委員会 常任理事委員長
眞木 祐治

2022年度のまちづくり委員会は3つの事業を行いました。1つ目は創立65周年記念事業である「つやま夢灯り庭園～願いの花を咲かせよう～」です。夢灯り実行委員会との共催となったこの事業は、2月25日～4月10日まで衆楽園にて開催されたつやま夢灯り庭園の開催期間中、来園者の方に桜の花びらの形をした用紙に願いごとを書いてもらい4月9日10日に木に飾りライトアップしました。新中期ビジョンVIVIDにちなんだ5色の願いの花が見事に咲き誇りました。

2つ目は地域活性化事業である「目指せ！衆楽園をモネの池に大作戦～今こそ起こそうムーブメント～」です。岐阜県関市にある通称モネの池には年間20万人の観光客が訪れます。人口減少社会において持続可能まちづくりを行うには今ある財産を活かすこと、さらに自然の力を利用することが必要と考えました。5月15日の浄化作戦には、100人募集の計画に高校生を含め130人以上のボランティアの方が参加してくれました。また、6月25日の報告会では岐阜県関市観光課の村井大和氏に関市の実例を講演いただき、参加者とまちの課題や持続可能なまちづくりについて議論しました。

3つ目は青少年健全育成事業である「真夏の大冒険！～仲間と見つける未来への扉～」です。7月29日～31日で津山圏域の小学生4年～6年生36名と真庭市の津黒高原にて2泊3日の宿泊型自然体験学習を開催しました。新型コロナウイルス感染症の影響によって3年ぶりのキャンプ事業とあって、LOM内でもJCキャンプを知らないメンバーが約半数を占める状態でしたが、無事に子供たちを保護者の元へ帰すことができました。子供の募集も数日で定員オーバーとなるほど世間のニーズがある津山JCの誇るブランド事業であることを改めて感じました。

3つの対外事業を成功させることができたのも、メンバーを始め多くの方のご支援ご協力のおかげです。今後も会員減少の中であっても、全力で影響力のある事業を展開して、さすがJCと言われる組織であり続けて欲しいと思います。1年間本当にありがとうございました。



- ・2月19日(土) 2月例会事業
- ・2月25日(金)～4月10日(日) 創立65周年記念事業つやま夢灯り庭園～願いの花を咲かせよう～
- ・5月19日(休) 5月例会事業
- ・5月15日(日) 目指せ！衆楽園をモネの池に大作戦～今こそ起こそうムーブメント～ 浄化作戦
- ・6月25日(土) 目指せ！衆楽園をモネの池に大作戦～今こそ起こそうムーブメント～ 報告会及び検討会
- ・7月23日(土) 真夏の大冒険！～仲間と見つける未来への扉～ 団結式
- ・7月29日(金)～31日(日) 真夏の大冒険！～仲間と見つける未来への扉～

□決算報告

新年懇親会	827,355 円
新会員研修(導入編)	3,697 円
新会員研修(研修編)	18,238 円

849,290 円

□決算報告

目指せ！衆楽園をモネの池に大作戦～今こそ起こそうムーブメント～	480,751 円
真夏の大冒険！～仲間と見つける未来への扉～	2,334,754 円

2,815,505 円



理事まつりキャプテン
まちづくり委員会 委員
芦田 雅嗣

2022年度の理事まつりキャプテンとして、第44回津山納涼ごんごまつり IN 吉井川の企画部長と津山まつり・徳守神社御神幸祭の興丁取締を務めさせていただきました。

ごんごまつりにおいては、2年間開催できていないことを鑑み、本年度は必ずや開催しようと、『STEP FORWARD ~その挑戦が津山の未来(あす)をつくる~』をスローガンとし、メンバー一丸となって邁進してまいりました。ウィズコロナの時代に対応したまつりのカタチを見出そうと、7月開催・ハイブリッド開催・おどり会場の変更・入場制限などの様々な新たな試みに挑戦しましたが、思い返せばキリが無いほどの不安や葛藤の中、3年ぶりの開催に向け、メンバー全員で戦った5カ月間の様々なシーンが今でも昨日のように蘇ります。そして、まつり当日には私たちの心配や予想を遥かに超える(2日間計)12万8千人の方々にご来場いただき、久しぶりの夏の風物詩を楽しんでいただくことができました。心配していた梅雨時期の開催も観測史上最速の梅雨明けというドラマチックな結末でクリアされ、終わってみれば、史上最高の協賛金額、史上最多の来場者数で幕を閉じ、コロナの心配も吹き飛ばすような津山の力、祭りの力を肌で感じました。ひとえにご支援いただいた皆様方のおかげと感謝しております。年初に掲げたスローガンの『STEP FORWARD ~その挑戦が津山の未来(あす)をつくる~』をまさに体現することができ、延期や中止ではなく一歩踏み出した新しいごんごまつりによって、再び津山に活力を取り戻し、我々の挑戦が津山の未来(あす)を切り開いたのではないかと思います。3年ぶりに津山の夜空に輝いた花火はコロナによる閉塞感や先行きの見えない不安を払拭する程の美しさがあり、格別の想いで見ることができました。しかし、設営面の不備や準備・想定不足については、この反省を活かし、連続と受け継がれてきた伝統文化を大切に守りながら、次年度以降さらに素晴らしいごんごまつりを実現していきたいと思っております。また、津山まつりに関しましては、大隅神社・徳守神社共に御神輿巡行を実施することが叶わず、大変悔しい想いです。次年度以降にこの想いを託し、津山の活力となるような祭りを実現して欲しいと願います。本年度、携わっていただいた関係各所全ての皆様に御礼を申し上げ、事業報告に代えさせていただきます。

また、公益社団法人日本青年会議所・中国地区岡山ブロック協議会・未来輝く人財育成委員会の副委員長として、出向させていただきました。事業として、第8回J CカップU-11少女サッカー岡山県大会、青少年育成事業『わたしのスマホルール』出前授業を行いました。私自身、岡山ブロックへの出向は今回で4度目となりましたが、本年度も多くの仲間と出会い、素晴らしい事業を展開することができました。1年間本当にありがとうございました。



会員指導力研修委員会 理事キャプテン
友愛親睦プロジェクト 理事キャプテン
岡山ブロック協議会 未来輝く人財育成委員会 委員
永禮 誠

この度、入会2年目にして一般社団法人津山青年会議所の理事という担いを仰せつかりありがとうございました。友愛親睦プロジェクトとしての事業は、私の想いの至らなさ故に開催する事が出来ませんでした。メンバーの皆様へ成長や学びの機会を提供出来なかったことを深く反省しております。

しかしながら、メンバーの皆様一人ひとりとの繋がりが、とても深くなったと感じることができた1年間でした。一般社団法人津山青年会議所のメンバーはとてもまっすぐで、運動、活動に対し情熱的、積極的に向き合っておられる姿を拝見することができました。年当初には、メンバーの皆様とともに一つの目標に向かって力を合わせて達成する事で友愛親睦が育まれるものだと考えておりました。

しかしそれは、友愛親睦事業だけでなくどの事業にも通じている事に気付かされました。委員長の想いに共感したメンバーが一丸となって事業目標を達成する姿、その工程のなかで友愛親睦が醸成され芽生える、また、力を合わせて目標を達成したその先に友愛親睦が芽生えることも肌で感じさせていただきました。

また、じゃがいもキャプテンとしての担いもいただきメンバーのみならず、先輩方とも繋がる機会をいただきました。そして岡山ブロックじゃがいも大会では『鍵開け賞』をいただくことができました。私は、理事という立場もありこの1年間で津山青年会議所の様々な場面を経験させていただき、『メンバーの皆様のお金を使う』という意味を学ぶことができました。自分の想いに共感していただいたメンバーの皆様や、関係者の皆様の貴重な時間を有意義なものにするためにも、しっかり調査研究し、委員会やメンバーとの協議を幾度となく重ねることで、最終的に綿密な計画を構築していくことを教えていただきました。『誰にどうなってほしいのか』この質問に対し即答出来ない歯痒さ、情けなさを感じるとともに、自分の想いを伝える難しさを痛感いたしました。

2年間という短くも長い濃密なJ Cライフではありましたが、卒業となってしまいます。今更になって皆様とともに過ごした時間を愛おしく思います。私を導いてくださった方々、最後まで支えてくれたメンバーの皆様、そしてこの貴重な経験の機会を与えてくださいました森山理事長、お陰様でこうして1年間をまっとうすることができました。至らぬ点が多々ありましたが、この経験の機会を与えてくださいましたことを心より感謝申し上げます友愛親睦プロジェクト理事キャプテンとしての事業報告とさせていただきます。

また、本年度は岡山ブロック未来輝く人財育成委員会へと出向させていただきました。ブロックの委員会では、県内各地のJ Cメンバーの方と繋がることができました。貴重な出会の機会をいただきありがとうございました。この委員会では、青少年健全育成の担いをいただきました。『J CカップU11』事業では、グットルーザーの精神をこども達に伝えることができました。また『私のスマホルール』の事業では、インターネット正しい向き合い方を伝えることができました。未来の宝であるこども達の輝く未来を祈念し岡山ブロック未来輝く人財育成委員会委員としての報告とさせていただきます。1年間ありがとうございました。

出向報告

岡山ブロック協議会

運営専務	金田 長一郎
<p>本年度、岡山ブロック協議会の運営専務として出向させていただきました。自分が運営専務をすることは全く想像をしていなかった事から、本当に濃い一年間を過ごさせていただきました。卒業年度に自分の全てをぶつけられる機会をいただき、全てを出し切ったと思っております。岡山ブロック協議会内の様々な方々との交流を通じて私も大きく成長させていただき、本年度関わらせていただいた全ての方に感謝を申し上げます、本当にありがとうございました。</p> 	

岡山ブロック協議会

総括幹事	山田 圭介
<p>私は岡山ブロック協議会総括幹事として出向させていただきました。予定者段階から数えて22回の役員会議、11回の会員会議所会議の設営、懇親会の設営を中心に県内各地 LOM の26名の幹事の皆様と活動をさせていただきました。1年間通して幹事の皆様からは「出向してよかった。」というお言葉もいただきました。この1年を今後の肥しにしてこれからも邁進してまいります。出向させていただき1年間ありがとうございました。</p>  <p style="text-align: right;">2022年度岡山ブロック協議会 役員団・幹事団の皆様</p>	

岡山ブロック協議会

事務局長	國米 智洋
<p>私が岡山ブロックの事務局長として心がけていたことは会議の雰囲気作りです。事務局長は会議までの準備は多いですが、会議中の役割としては基本的には出席者の紹介となります。岡山ブロック協議会の会議は県内15LOMが会議の設営などを学びに来て、各LOMに持ち帰るというものです。その中で最初に行う出席者紹介が良くなければ、その後の会長挨拶や各議案がいいものであっても印象の悪い会議になると思い、会長のご挨拶や会議の雰囲気をよりよくできることを目指して、出席者紹介に全てを込めて行って参りました。今回の出向を通じて心を許せる仲間も多くできて、本当に出向してよかったなと感じています。</p> <p>本年度、津山青年会議所から出向した役員は次年度以降のみとなりますので、本年度の経験や人脈をしっかりLOMに還元していきたいと思っております。1年間本当にありがとうございました。</p>	

(公社) 日本青年会議所 経済G ウェルビーイング経営委員会

会計幹事	赤本 淳
<p>2019年度の日本青年会議所出向以降、委員会に深く関わり日本青年会議所の運動の歯車になることを望んでいました。そんな中、本年度はLOMにご負担をおかけしながら、公益社団法人日本青年会議所経済グループウェルビーイング経営の会計幹事として出向させていただきました。委員会ではスタッフとして議案や運営に力を注ぎ、委員会を盛り上げることができました。本当に最高の1年間を過ごすことができ、LOMメンバーや出向で出会ったメンバーに感謝しています。ありがとうございました。</p> 	

委員	西山 圭
<p>本年度、公益社団法人日本青年会議所社会グループベビーファースト委員会へ出向させていただきました。ありがとうございます。「子どもを産み育てやすいまちづくり」ということを目指し1年間運動活動を展開してまいりましたが、日本のスピード感や様々なことでの精度の高さに驚かされてばかりでした。なんとか、無事全国47都道府県から「ベビーファースト宣言」をしていただくことができ、何よりも生涯の大切な仲間にも恵まれたこと大変幸せに思います。1年間ありがとうございました。</p>	
	

幹事	入木 圭
<p>本年度、中国地区協議会総務委員会委員長幹事として出向させていただきました。つやまを離れ、各地に赴くことに最初は不安と緊張でいっぱいでしたが、そこで出会うJCメンバーの方々との交流に新鮮さと楽しさ、そして何よりもJCに対しての深い愛を感じました。中国地方各地での役員会議、会員会議所会議の設営、そしてASPAC堺高石大会への参画、中国地区カンファレンスIN松江での褒賞事業、U-11JCカップ中国地区大会の企画、運営など普段では味わえない貴重な体験を多くさせていただきました。本当に感謝でいっぱいです。次年度もこの経験を活かし邁進していきます。ありがとうございました。</p>	
	

幹事	小倉 美穂
<p>本年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区協議会 総務委員会委員長幹事として出向させていただきました。ASPAC 堺高石大会への参加では初めてブース出展を手伝い、中国地区カンファレンスの際には褒賞事業を任せられ困難なことも沢山ありましたが、多くのことを学ばせていただきました。総務委員会は毎月会議の設営をし、中国地区53LOMの理事長、役員団の会員会議所会議の設営がありました。不安の中にも、同LOM以外のメンバーの助け合いを感じ、改めて素晴らしい人との出逢いをいただきました。出向してみるとLOMの良さや弱さを知ることができました。この体験を次年度に活かしたいと思います。このような機会をくださいました皆様に心より感謝申し上げます。ありがとうございました。</p>	
	

会長幹事	山本 康太
<p>本年度は2022年度日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会に山本竜義ブロック会長の会長幹事として出向させていただきました。会議や懇親会の設営といった経験や岡山県下15LOMの方々と多くのつながりを得るなど、多くの愛溢れるなか、大変素晴らしい経験をさせていただきました。</p> <p>最後になりましたが、このような経験をさせていただきました。森山理事長、山本直前理事長、本当にありがとうございました。</p>	
	

会長幹事	森本 莉彩
<p>本年度、岡山ブロック協議会山本会長のもと会長幹事として出向させていただきました。自LOMから岡山ブロック協議会会長が12年ぶりに輩出されるということで、会議の設営等、運営の方もしていくという1年でした。予定者段階の時期は本当に会議の設営に馴れないこともあり、たくさん失敗をしたこともありましたが、大変良い学びとなりましたし、総括幹事を中心に幹事団のメンバーで協力してできたこと嬉しく思っています。そして会議が重なる度に、県内各地の幹事団のメンバーとも絆が深まり、ブロックの魅力を感じることができました。素敵な仲間と出会えたこと本当に感謝しています。</p> <p>岡山ブロック協議会で素晴らしい学びの機会と出会いをいただいたこと改めて皆様に感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。</p>	
  	

会長幹事	大上 晋治
<p>2022年度 岡山ブロック協議会、会長幹事として出向させていただきました。何もかもが初めての経験で、すべての会議においてとても緊張感があり大変貴重な経験をさせていただきました。そして他LOMの方々とも懇親を深めることもでき今後のJC運動活動の様々な場面で活かす事ができると確信しております。</p> <p>最後に、今年度たくさんの経験と、出会いの場を与えていただき、本当にありがとうございました。</p>	

会長幹事	神崎 大輔
<p>2022年度 岡山ブロック協議会 会長幹事として出向させていただきました。</p> <p>初めての出向で不安でしたが、設営面の大変さや重要さ、15LOMの理事長たちが参加する会員会議所会議の空気感など、大変多くの学びを得ることができました。年の中盤頃より、会社の都合で参加できないことが多くなってしまったのが、心残りであり、申し訳ない思いです。</p> <p>このような素晴らしい機会をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。</p>	

副議長	西村 絵理
<p>公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック 拡大ブランディング会議 副議長として出向させていただきました。岡山ブロックの運動活動をホームページ運営やSNS更新を行い、まちへ伝えるための情報発信を担当いたしました。また2022年の拡大ブランディング会議では女性会員拡大特別支援会議のファシリテーターを担わせていただき、お集まりいただいた岡山ブロック15LOMの女性会員の皆さまとともに、各LOMの状況や女性会員として今後の青年会議所を思考する貴重な時間を共有させていただきました。この学び多き時間を過ごせたのは、同じ拡大ブランディング会議のメンバーが支えてくださったおかげです。力が及ばずご迷惑をおかけし、非常に心苦しい部分もごございますが、この場をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。</p>	
	

議員	岡本 誠
<p>今年度は岡山ブロック協議会拡大ブランディング会議に出向させていただきました。所属 LOM を超えた会員拡大に積極的に取り組むと共に、5月に女性会員拡大特別支援会議、11月に AWARDS・卒業式を実施しました。女性会議では女性会員の獲得や女性が J C 運動・活動を行うために必要なことは何かなどについて、西村絵里副議長が司会として協議を大いに盛り上げました。AWARDS・卒業式は懇親会も行い、アフターコロナを見据えた JC らしい設営を行いました。出向の機会をいただき、多くの学びと仲間を得ることができました。</p>	
	

委員	延原 健
<p>今年度は岡山ブロック協議会会員研修委員会委員に出向させていただきました。会員研修委員会では高橋祐一委員長をはじめとします委員会に出向されたメンバーの皆様や行われた事業に参加させていただいたことで様々な気づきや学びを得ることができました。今回得た気づきや学びを今後の青年会議所運動、活動に行かせていこうと思います。最後になりましたが岡山ブロック協議会に出向させていただきありがとうございました。</p>	
	

委員	松島 幸一
<p>公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会に委員として出向させていただきました。新会員研修会では VMV セミナーや歴代会頭である鎌田長明先輩によるご講演、ブロックアカデミーでは J C の基盤となる事業実施に至るための議案書の作成や疑似理事会での上程、会員交流事業ではチャンバラ合戦による友情づくりと、3つの事業を行うことができました。貴重な出向経験を活かし、今後も邁進してまいります。ありがとうございました。</p>	
	

委員	朝比奈 京平
<p>2022年岡山ブロック協議会に出向させていただきました。新型コロナウイルス感染症の影響があり、なかなか委員会参加や、事業の協力が出来ませんでした。岡山ブロック大会では現地にて他の LOM メンバーとの交流が出来ました。この経験を来年度に活かせるようにして参ります。ありがとうございました。</p>	

委員	藤井 克巳
<p>本年度、公益社団法人日本青年会議所 中国地区 岡山ブロック協議会 愛溢れる岡山創造委員会委員として出向させていただきました。公益社団法人倉敷青年会議所から出向された豊島委員長のもと、7月2日に行われました岡山ブロック大会メインフォーラムをはじめ、10月1日に行いました岡山の魅力発見！VIVA フェス OKYAMA 両事業に委員会メンバーとして参加をし、LOMだけでは味わえない実りあるいい経験をさせていただくことができました。この経験を活かし次年度も邁進してまいります。このような機会をいただき感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。</p> 	

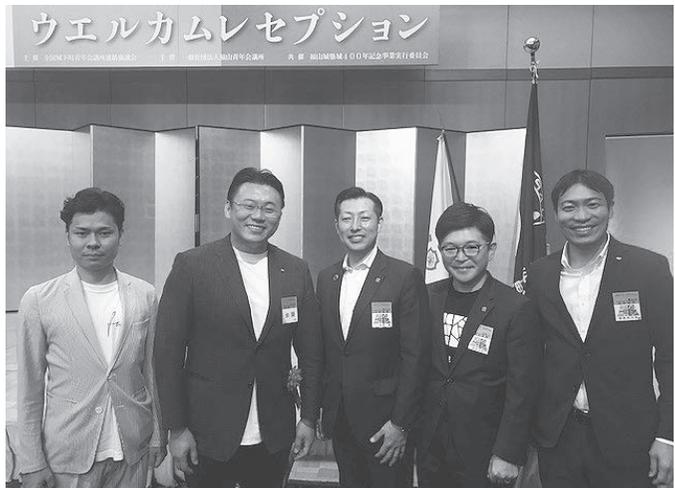
事務局長	杉本 諭隆
<p>本年度、全国城下町青年会議所連絡協議会事務局長として出向させていただきました。出向先では城に熱い想いをもちた沢山のの人達と出会い、話をする中で多くを学ばさせていただきました。この経験を活かし残りのJC生活に生かしていきたいと思ひます。一年間本当にありがとうございました。</p> 	

運営専務	平岡 大樹
<p>本年度、全国城下町連絡協議会山本会長のもと運営専務を務めさせていただきました。第41回全国城下町シンポジウム福山大会が築城400年を迎える節目に盛大に開催されました。近年のコロナ禍で思い通りに開催できていない全国城下町シンポジウムの流れがあるなか、無事大会が成功裏に終えれたことは非常に嬉しく思ひます。この素晴らしい大会に携われたことに心より感謝申し上げます。</p> <p>また、全城連を通じて加盟LOMの皆様との多くの出会い、学びや気づきを得ることができました。この経験を、卒業後も城下町津山のまちづくりにお返しできるよう努めてまいりますので、今後ともよろしくお願ひいたします。一年間ありがとうございました。</p> 	

会長 幹事	河本 啓彰
<p>今年度全国城下町青年会議所連絡協議会会長幹事として出向させていただきました。私自身出向自体初めての経験でしたが、全国城下町シンポジウム福山大会で現地に赴き、福山市民も巻き込み大いに盛り上がっている姿を見て、あらためてお城の魅力を感じさせていただきました。</p> <p>このような機会をいただいたことに感謝し、次年度もJC運動、活動に邁進してまいりますのでよろしくお願ひします。</p> 	

2022年12月31日現在

(単位：円)

会長 幹事	前田 哲弥
<p>今年度全国城下町青年会議所連絡協議会会長幹事として出向させていただきました。 いちお城ファンとして全国の城下町青年会議所の皆様と携わらせていただいたことが大変嬉しく、また今年度の全国城下町シンポジウム福山大会で現地での熱量に触れてお城の魅力を再確認できる機会にも恵まれました。</p> <p>次年度は全国城下町青年会議所連絡協議会理事としてお城の素晴らしさをさらに発信していければと思っておりますのでどうぞよろしくお願いたします！</p>	
	

科目名	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	8,591,478
現金	0
当座預金	0
普通預金	8,591,478
中国銀行津山支店 口座番号1281389	2,424,353
鳥取銀行津山支店 口座番号0067038	0
津山信用金庫本店 口座番号0659314	1,501,028
津山信用金庫本店 口座番号0704298	955,567
津山信用金庫本店 口座番号0700642	227,421
津山信用金庫本店 口座番号0700985	3,483,109
定期預金	0
立替金	95,000
未収入金	1,339,774
前払費用	102,805
貯蔵品	6,800
流動資産合計	10,135,857
2. 固定資産	
その他の固定資産	117,500
出資金	117,500
固定資産合計	117,500
資産合計	10,253,357
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金	33,000
預り金	9,200
源泉税預り金	0
その他預り金	9,200
前受金	600,000
流動負債合計	642,200
2. 固定負債	
固定負債合計	0
負債合計	642,200
III 正味財産の部	
一般正味財産	9,611,157
指定正味財産	0
正味財産合計	9,611,157
負債および正味財産合計	10,253,357

正味財産増減計算書

2022年1月1日から 2022年12月31日まで

(単位：円)

科目名	金額	備考
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
受取入会金	200,000	
受取入会金	200,000	50,000×4名
受取会費	6,000,000	
正会員受取会費	6,000,000	150,000×37名、75,000円×4名
特別会員受取会費	0	
賛助会員受取会費	0	
事業収益	7,730,000	
登録料収益	7,730,000	新年懇親会、望年会、65周年他
業務委託収入	0	
雑収入	0	
受取補助金等	1,041,335	
受取国庫補助金	0	
受取地方公共団体補助金	1,041,335	ゆめ基金、真庭観光協会
受取民間補助金	0	
受取負担金	0	
受取負担金	0	
受取寄附金	172,470	
受取寄附金	172,470	JCボックス
雑収益	1,854,623	
受取利息	82	
その他雑収入	68,821	OB会事務委託費、JCカード還元、SDGs/バッジ販売等
津山市民憲章受託費	264,000	22,000×12ヶ月
クラウド収入	1,362,720	ROKUGO トレイン
OB会通信費	159,000	3,000×53名
経常収益計	16,998,428	
(2) 経常費用		
事業費	12,061,950	
会員指導力研修委員会	2,431,434	
まちづくり委員会	2,901,581	
65周年記念	6,681,345	
その他	47,590	NEW JC 送料、野球大会登録料
管理費	4,277,939	
会議費	634,995	理事会、次年度理事会、例会、各種会議体会議費、例会活動費
役員報酬	0	
給料手当	1,011,150	
退職給付費用	0	
法定福利費	10,949	
旅費交通費	0	
通信・発送費	228,824	電話代金等
消耗品費支出	326,354	事務用品費、USB他
リース料支出	130,680	コピー機リース料
印刷製本費支出	727,500	会員手帳、あした
光熱水料費支出	89,228	電気代(12ヶ月)
賃貸料支出	463,200	事務局・ルームの家賃、商工会館公益費、JC倉庫の賃貸料

明細あり

業務委託費支出	295,619	会計アドバイス料・HP制作費・サーバーレンタル料・ドメイン更新料金
インフォメーション関係費支出	10,000	津山朝日新聞社
渉外費支出	141,000	中学校野球大会補助、祝儀、慶弔費等
雑支出	208,440	
負担金支出	759,868	
J C I 負担金支出	69,888	1,664円/42名
日本 J C 負担金支出	240,000	会費30,000 付加金5,000×42名
地区協議会負担金支出	42,000	1,000×42名
ブロック協議会負担金支出	105,330	2,000×42名、賦課金21,000他
国際協力資金支出	76,650	1,825×42名
日本 J C 出向者負担金支出	100,000	20,000×5名
We Believe購読料支出	126,000	3,000×42名
経常費用計	17,099,757	
評価損益等調整前当期経常増減額	0	
基本財産評価損益等	0	
特定資産評価損益等	0	
投資有価証券評価損益等	0	
評価損益等計	0	
当期経常増減額	▲ 101,329	
2. 経常外増減の部	0	
(1) 経常外増減の部	0	
経常外収益計	0	
(2) 経常外費用	0	
経常外費用計	0	
当期経常外増減額	0	
他会計振替額	0	
当期一般正味財産増減額	▲ 101,329	
一般正味財産期首残高	9,712,486	
一般正味財産期末残高	9,611,157	
II 指定正味財産増減の部	0	
当期指定正味財産増減額	0	
指定正味財産期首残高	0	
指定正味財産期末残高	0	
III 正味財産期末残高	9,611,157	

財産目録

2022年12月31日現在

(単位：円)

科目名	金額
I 資産の部	
1. 流動資産	
現金預金	8,591,478
現金 現金手許有高	0
普通預金	8,591,478
中国銀行津山支店 口座番号1281389	2,424,353
鳥取銀行津山支店 口座番号0067038	0
津山信用金庫本店 口座番号0659314	1,501,028
津山信用金庫本店 口座番号0704298	955,567
津山信用金庫本店 口座番号0700642	227,421
津山信用金庫本店 口座番号0700985	3,483,109
未収入金 ゆめ基金、2022年度会費未収分他	1,339,774
立替金 清算未済分	95,000
前払費用 次年度会議費等	102,805
貯蔵品 JCバッジ	6,800
流動資産合計	10,135,857
2. 固定資産	
その他の固定資産	117,500
出資金 津山森林組合出資金235口	117,500
固定資産合計	117,500
資産合計	10,253,357
II 負債の部	
1. 流動負債	
未払金 会計事務所	33,000
預り金 新会員ネームプレート代他	9,200
前受金 新会員次年度会費4名分	600,000
流動負債合計	642,200
2. 固定負債	
固定負債合計	0
負債合計	642,200
III 正味財産の部	
一般正味財産	9,611,157
指定正味財産	0
正味財産合計	9,611,157
負債及び正味財産合計	10,253,357

物品管理会計

2022年12月31日現在

名称	備考	金額
1. 受信用電話機セット		10,000
2. 書庫 1. ファイリングキャビネット	真庭 JC15 周年記念品	19,550
2. 事務用ロッカー		
3. 会議用ロッカー		20,000
4. 書庫 (大・上下)		24,000
5. 書庫 (大・上下)		44,000
6. 書類収納用ロッカー (階下)		15,500
3. 例会用パネル3枚 (含新マーク)		70,000
4. 例会用演題		15,000
5. 特別会員ネームプレート		44,000
6. 私書箱		21,500
7. 事務機2台、椅子1脚		23,250
8. 事務機		3,500
9. JC旗用三脚		7,200
10. 手揚げ金庫		4,160
11. 絵画	OB会より25周年記念品	
12. テント4張り	1982.83.85年度卒業生記念品	
13. 書庫	美作 JC15 周年記念品	
14. ホワイトボード	美作 JC15 周年記念品	
15. ロッカー上置戸棚1セット		92,700
16. 会議用テーブル(1)、椅子(4)	1990年度卒業記念品	
17. レターケース		20,720
18. テレホンスタンド		15,750
19. 留守番電話機		37,080
20. 例会用看板・城下町宣言タペストリー		60,000
21. 無線LAN BBルーター		7,980
22. シュレッダー	2005年度卒業記念品	
23. 特別会員ネームプレート	2005年度卒業記念品	
24. JCIマーク入りLOM旗一式	2006年度卒業記念品	
25. JCIマーク入り法被一式	2005.2006年度卒業記念品	
26. 会議用長バイク椅子6脚		20,317
27. リソグラフ印刷機 RZ570 1台		283,500
28. 会議用長テーブル2台	2007年度卒業記念品	
29. プロジェクター用スクリーン	2009年度卒業記念品	
30. テント1張り	2011年度卒業記念品	
31. 書庫4台	2012年度卒業記念品	
32. YAMAHA STAGEPAS 400i	2014年度卒業記念品	
33. 国旗一式	2015年度卒業記念品	
34. プレジデンシャルリース	2016年度卒業記念品	
35. JCI皮製フォルダ5	2016年度卒業記念品	
36. テント1張り	2016年度卒業記念品	
37. 一眼レフカメラセット	2017年度卒業記念品	
38. ハードディスク3TB	2017年度卒業記念品	
39. プロジェクター	2018年度卒業記念品	
40. LOMバックボード		75,350
41. 非接触体温計		7,880
42. 採択ハンマー及び卓上旗セット		25,690
43. バックボード	2020年度卒業記念品	
44. NASシステム付きHDD8TB	2021年度卒業記念品	
45. プロッター	2022年度卒業記念品	
物品管理会計の資産取得額の合計		968,627

財務諸表に対する注記

1. 継続事業の前提に関する注記

継続事業の前提に重要な疑義を抱かせる事象又は状況はない。

2. 重要な会計方針

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は、税込方式によっている。

3. 会計方針の変更

該当なし。

監査報告書

一般社団法人津山青年会議所

2022年度理事長

森山 裕一 殿

2023年1月11日

一般社団法人津山青年会議所

監事 金田 長一郎

監事 赤本 淳

私たちは、2022年1月1日から2022年12月31日までの会計年度における会計及び監査を行い、次の通り報告する。

1 監査方法の概要

(1) 会計監査について

帳簿並びに関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、計算書類の正確性を検討した。

(2) 業務監査について

理事会及びその他の会議に出席し、理事から業務の報告を聴取し関係書類の閲覧など必要と思われる監査手続きを用いて、業務執行の妥当性を検討した。

2 監査報告

(1) 貸借対照表・収支計算書・正味財産増減計算書及び財産目録は、会計帳簿の金額と一致し、法人の収支状況及び、財産状態を正しく表示しているものと認められる。

(2) 事業報告書の内容は真実であると認められる。

(3) 理事の職務執行に関する不正行為又は法令もしくは定款に違反する重大な事項はないと認める。

2023年度

事業計画
一般会計予算



一般社団法人 津山青年会議所
第66代理事長 小笠原 翔 太

〈 理 事 長 所 信 〉

大切なこのまちに、未来から借りているこのかけがえのない世界に、今日よりも少しでも良い明日が来るように情熱を注ぎ精一杯今を生きる。

より良い明日をつくる。
そのためにはどうすれば良いか。

子供たちに誇れる未来を残す。
それはどんな世界なのか。

常に本気で考えて全力で挑戦し、仲間を信じて夢描いた未来に向かって進み続けるしかない。

本気で夢に挑戦する。
馬鹿にする人もいるかもしれない。

夢はもち続ければ叶う。
幻想だと笑われるかもしれない。

しかしそれは挑戦した者にしか、あきらめなかったひとにしか見えない道であり、より良い未来へ近づくたった一つの方法ではないだろうか。

「早く行きたければ一人で進め、
遠くまで行きたければみんなで進め」

私たちの目指す未来は遠く果て無きものである。
夢のそのまた先を目指して共に歩んでいこう、笑顔溢れる未来を目指して。

【私たちの使命】

私たちは本当に多くの方のかけがえのない時間を費やして築かれた津山青年会議所の歴史の上に立っており、それぞれの責任を全うすることで、次代へつないでいかなければならない立場であることを一人ひとりが改めて自覚してほしいと思います。

「青年が社会により良い変化をもたらすための発展と成長の機会を提供する」

かつて戦後の荒廃の中、日本再建の使命に燃えた青年たちの力により日本に青年会議所が設立されました。その使命に燃えた青年の想いが全国に伝播していく中、1958年に私たちのまちつやまでも36名の志高き青年たちの手により、全国で135番目の青年会議所として津山青年会議所が誕生しました。個人の修練、社会への奉仕、世界との友情の三信条を掲げ、戦後復興から高度成長期、安定期からバブル期、そして失われた30年といわれる長期低迷期といった常に変化する世界の中で、オイルショックやバブル経済の崩壊、大規模災害など多くの困難を乗り越え、66年目を迎えます。情熱と弛まぬ努力をもって65年間を創り上げてくださった先輩方の汗と涙の結晶が今日の津山青年会議所であり、私たちは改めてその歴史を背負う覚悟と責任と自覚を強く持ち、大切な誇りとして次代へつないでいかなければなりません。

【挑戦から未来を生み出す】

私は11年間でJCは自分から挑戦することでより良くなる場所であり、いるだけで成長できる場ではないということを、身をもって経験してきました。

現在、我々を取り巻く環境は人口減少、少子高齢化による経済の衰退や地域コミュニティの弱体化、深刻な人手不足、さらには年金、医療、介護といった負担の増大や社会保障制度自体の維持ができなくなる可能性など、普段の生活に様々な影響が生じることが懸念されています。さらに、2019年12月に突如発生した新型コロナウイルス感染症による影響は様々な場面で社会を分断し、経済においてはK字経済と呼ばれる二極化を加速させました。しかし、新型コロナウイルス感染症の影響は社会生活の制限や経済活動の停滞といったネガティブな面だけでなく、Web会議の普及やリモートワークの導入など新たな取り組みを生み出すきっかけとなり、家族と過ごす時間や趣味に費やす時間の増加といったポジティブな変化も生まれました。またIoT、ロボット、人工知能(AI)、ビッグデータといった社会の在り方に影響を及ぼす新たな技術の進展により、経済発展と社会的課題の解決を両立していく新たな社会であるSociety 5.0の実現を加速させています。そして、行き過ぎた株主資本主義に対して富のバランスを整え、官民が一体となって改革に取り組むことで成長と分配の好循環を生み出すために提唱された新しい資本主義を実現させる契機になったと考えます。間もなく到来するウィズコロナ、アフターコロナの新しい社会を見据え、このような時代だからこそ変化をチャンスと捉え、挑戦することが今まで以上に求められています。

今あなたがいる場所は心地が良いでしょうか。

経験したことのないことや挑戦したことのないことに取り組むのだから上手いいかないことや悩むこと、時に批判されることもあるかもしれませんが。しかしそれこそが成長に向かっている証拠であり、より良くなるチャンスをつかんでいると思います。

今が心地の良いと感じている方はぜひ一歩踏み出して挑戦してほしいと思います。

そして今いる場所が心地よくないと感じている方はぜひそのまま挑戦を続けてほしいと思います。一人

ひとりの挑戦を集め、より良い未来へ向かってともに進んでまいりましょう。

【伝統と挑戦によるひとづくり】

津山青年会議所には65年間培われてきた修練を軸とした個人の可能性を最大限まで広げることができるひとづくりの精神が連綿と受け継がれています。それはどんなに時代が変わろうとも、手法やプロセスが変わろうとも、不変の精神として自らの姿勢をもって次代へ引き継いでいかなければなりません。私たちは自ら様々なことに挑戦し、日々の努力を重ね、物事を成し遂げ、また新たな挑戦をしていく。その繰り返しの中で何が大切なことなのか、その大切なことを守り次代へつなげていくためには何が必要なのかを考え進んでいくことが自分自身を成長させます。挑戦の過程では苦しいことやくじけそうになること、時には投げ出したくなることもあるかもしれませんが。そんな時には一緒に挑戦している仲間とともに乗り越え、40歳までという限られた時間の中で切磋琢磨し、不変の精神と挑戦によってより良い明日をつくり続けることで未来を切り拓いてまいりましょう。

【挑戦するひとを生み出すまちづくり】

私は今つやまの発展のために何が必要か、と問われると自信をもってまちに愛着と誇りをもち、自分たちのまちは自分たちでつくるという気概をもつ郷土愛溢れるひとを増やすことであると答えます。しかし入会以前は違いました。何よりも自分自身が生まれ育ったまちにも関わらずつやまのことをほとんど知らず、何もないまちであると思っていた時期もありました。それを変えてくれたのが津山青年会議所への入会であり、様々な事業での経験でした。津山青年会議所の行うまちづくり事業にはひとを、まちを、未来を変える力があります。なぜならば今地域はどうなっているのか、どういう未来に導かなければならないのかということ調査し、志を同じくする仲間と議論を重ねてとことん考え抜き、形にしているからです。未来を見据え、夢を語り合い、想いを込めた運動で郷土愛溢れるひとを増やし子供たちに誇れる未来を残しましょう。

【多様性が織りなす組織づくり】

性別や職業、経験、年齢、入会年度の違いなど異なる個性豊かな会員が集まり、同じ志をもち共通の目標のために様々な価値観や経験をもとにより良い未来をつくるために、最良の方法を常に追い求める。これは青年会議所の特徴であり大きな魅力の一つと言えます。より良い未来をつくるために価値観を合わせるのではなく、様々な価値観から生み出される議論をもとに可能性を広げる運動を展開していきましょう。そして津山青年会議所には約400名もの特別会員の皆様がおられ、そして65年という長きにわたり先輩方が築いてこられた地域や行政、他団体、各地JCとの強固な信頼関係やネットワークがあります。先輩方より良い関係性をもち、私たちがネットワークの中心になるという確固たる意志のもと異なる組織との情報交換や連携を通じて津山青年会議所の運動の効果を広げ、オピニオンリーダーとして地域を牽引していきましょう。

【むすびに】

5年後、10年後の世界はどうなっているのか。

予想を上回る変化の中では正確な予測を立てることはできないかもしれません。

しかし、約束されているものがあります。

それは挑戦による私たちの成長と、夢描いた未来を実現するという情熱を注ぐことでより良い未来に近づくとことです。

自分を信じ、仲間を信じ、挑戦から生まれるより良い明日を目指して共に歩みましょう。

〈 スローガン 〉

一心精進

～笑顔溢れる未来のために～

＜基本理念＞

多様性が織りなす笑顔溢れる郷土つやまの創造

＜基本方針＞

伝統と挑戦が調和するひとづくり
 挑戦するひとを生み出すまちづくり
 多様性が織りなす組織づくり

2023年度基本計画

事業計画

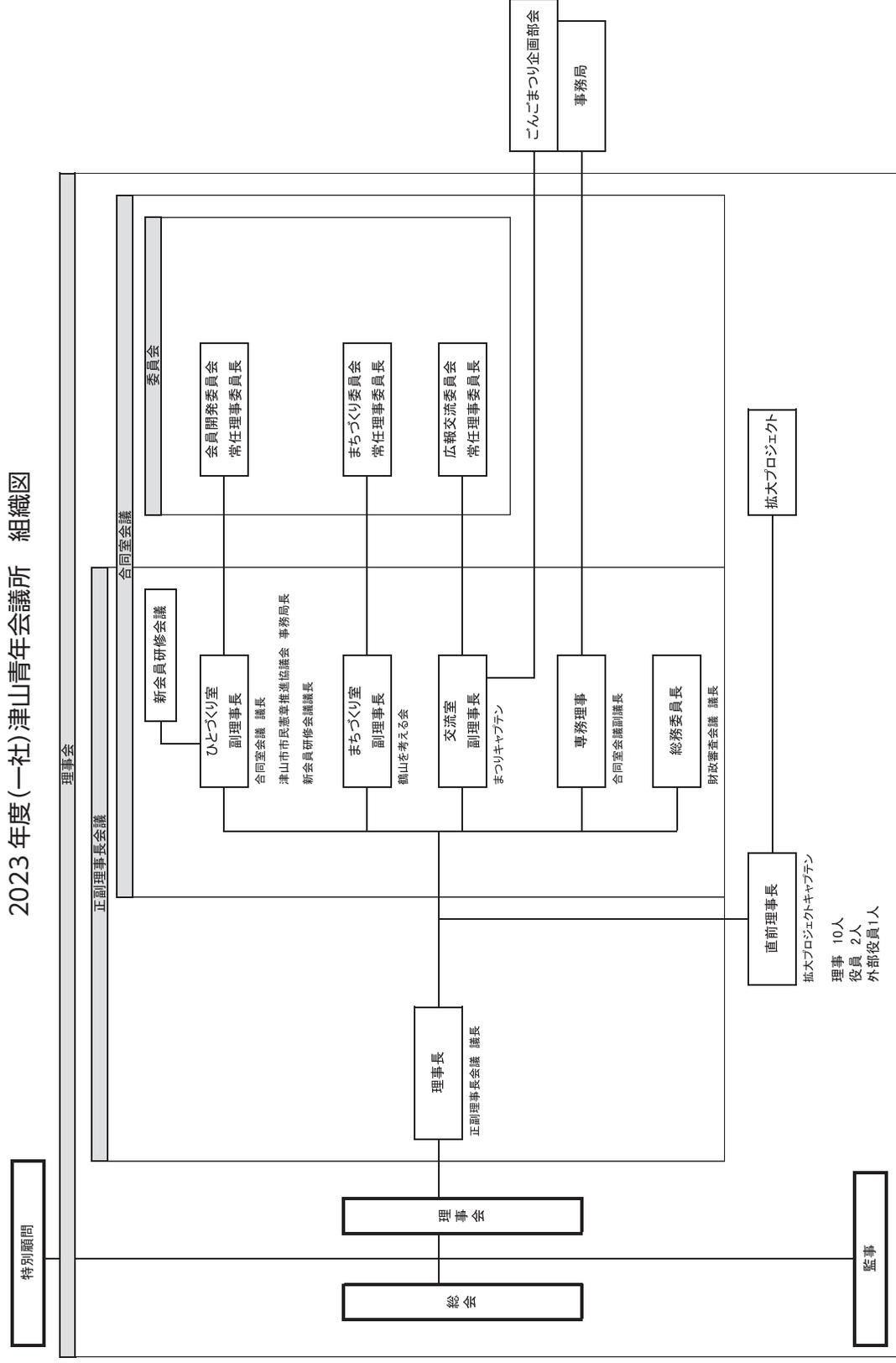
1. 新年懇親会
2. 納涼会
3. あした号外の発刊
4. 望年会・卒業式
5. 新会員研修会（12月～6月、6月～12月）

理 事 長	小笠原翔太	（正副理事長会議議長）
直 前 理 事 長	森山 裕一	（拡大プロジェクトキャプテン、岡山ブロック協議会監査担当役員）
ひとづくり室 副理事長	松田 和也	（合同室会議議長、津山市民憲章事務局長、新会員研修会議議長）
まちづくり室 副理事長	芦田 雅嗣	（鶴山を考える会）
交 流 室 副 理 事 長	岡 孝男	（岡山ブロック協議会会員研修委員会委員長、まつりキャプテン）
専 務 理 事	豊福 祥旗	（専務渉外グループ長）
総務委員会委員長	國米 智洋	（財政審査会議議長、日本青年会議所 社会課題解決推進委員会運営幹事）
会員開発委員会 常任理事委員長	山本 康太	
まちづくり委員会常任理事委員長	藤井 克巳	
広報交流委員会 常任理事委員長	上山 春洋	
監 事	赤本 淳	（日本青年会議所 社会課題解決推進委員会委員）
監 事	眞木 祐治	
特 別 顧 問	山本 竜義	（岡山ブロック協議会直前会長、全国城下町青年会議所連絡協議会直前会長）

（出向者）

岡山ブロック協議会	藤本 裕文	（会員研修委員会委員長幹事）
岡山ブロック協議会	小倉 美穂	（会員研修委員会委員長幹事）
岡山ブロック協議会	松島 幸一	（会員研修委員会委員長幹事）
岡山ブロック協議会	森本 莉彩	（会員研修委員会委員）
岡山ブロック協議会	神崎 大輔	（岡山未来創造会議委員）
岡山ブロック協議会	朝比奈京平	（夢溢れる岡山創造委員会委員）
岡山ブロック協議会	入木 圭	（夢溢れる岡山創造委員会委員）
岡山ブロック協議会	山本 右己	（直前会長幹事）
岡山ブロック協議会	玉田林太郎	（監査担当役員幹事）
全国城下町青年会議所連絡協議会	前田 哲弥	（理事）

2023年度(一社)津山青年会議所 組織図



2023年度 一般社団法人津山青年会議所 所属表

理事長 小笠原 翔太	直前理事長 森山 裕一	副理事長 松田 和也	副理事長 芦田 雅嗣	副理事長 岡 孝男	監事 赤本 淳	監事 眞木 祐治
専務理事 豊福 祥旗	特別顧問 山本 竜義	総務委員会	委員長 國米 智洋	副委員長 芦田 雅嗣	委員 小笠原、森山、松田、岡、豊福	
ひとづくり室副理事長 松田 和也	会員開発委員会	常任理事委員長 山本 康太	副委員長 前田 哲弥	幹事 小倉 美穂	委員 小笠原、森山、松田、岡、豊福	
まちなづくり室副理事長 芦田 雅嗣	まちなづくり委員会	常任理事委員長 藤井 克巳	副委員長 朝比奈 京平	幹事 山本 右己	委員 神崎、齋藤、杉本、延原、末永、齊藤	
交流室副理事長 岡 孝男	広報交流委員会	常任理事委員長 上山 春洋	副委員長 河本 啓彰	幹事 玉田 林太郎	委員 入木、大上、松島、西村、森岡、山形、小松原	
正副理事長会議	議長 小笠原 翔太	副議長 豊福 祥旗	議員 松田、芦田、岡、國米	議員 専務渉外グループ	グループ長 豊福 祥旗	メンバー 小倉、山本(右)、玉田
合同室会議	議長 松田 和也	副議長 豊福 祥旗	議員 芦田、岡、國米、山本(康)、藤井、上山、前田、朝比奈、河本			
新会員研修会議	議長 松田 和也	幹事 藤本 裕文	議員 朝比奈 京平	議員 山本(康)、藤井、上山、前田、朝比奈、河本		
財政審査会議	議長 國米 智洋	議員 山本(康)、藤井、上山	議員 津山市市民憲章推進協議会	副議長 小笠原 翔太	事務局長 松田 和也	事務局長 山本(康)、藤井、上山
拡大プロジェクト	キャブテン 森山 裕一	副キャブテン 松田 和也	幹事 藤本 裕文	メンバー 前田、朝比奈、河本、大上、齋藤、末永、杉本、西山、延原		
まちなづくりプロジェクト (ごんごまつり企画部会)	キャブテン 岡 孝男		ごんごまつり企画部会メンバー 入木、大上、神崎、齋藤(雄)、末永、杉本、松島、藤本、玉田、小松原、齊藤(優)、日笠、山形			

2023 年度新会員

区分	氏 名	勤 務 先	役 職
新加入者	こまつばら あやの 小松原 綾 乃	株式会社山備保険事務所	
	さいとう まさる 齊 藤 優	ソニー生命保険株式会社	
	ひかさ ななこ 日 笠 七菜子	株式会社 MU 不動産コンサルティング	
	やまがた ともや 山 形 朋 椰	株式会社山形電気工事	取 締 役

以上 4 名

2023 年度 一般社団法人 津山青年会議所 各会議及び委員会・プロジェクト事業計画

総務委員会

1. 事務局の管理・運営及び掌握（専務理事への協力）
2. 例会の運営の統括及び通知の発行
3. 総会の運営及び総会資料の蒐集並びに理事会及び例会の議事録の作成及び保管・管理
4. 防災・減災・復旧に関する事項
5. 褒賞及び表彰に関する事項
6. 定款・規約に関する事項
7. （一社）津山青年会議所の組織に関する事項
8. 入会、休会及び希望退会の受付並びに自動退会及び除名の取り扱い
9. 慶弔に関する事項
10. JC ボックスの管理
11. 仮入会者に関する事項
12. 仮入会者、入会予定者へのオリエンテーションの開催
13. 他の会議体・委員会に属さない事項

正副理事長会議

1. （一社）津山青年会議所の目的達成のための計画の統括管理及び実施推進
2. 事業計画及び事業予算の検討調整

合同室会議

1. （一社）津山青年会議所の目的達成のための計画の統括管理及び実施推進
2. JCI TSUYAMA 2021 VISION【VIVID TSUYAMA ひとに気づきとまちに築きを】の推進
3. 各室間の連絡調整

財政審査会議

1. （一社）津山青年会議所のデジタル改革への調査研究・推進
2. 会員名簿の作成及び保管・管理
3. 出版物の整理及び保管
4. 補助金・助成金に関する情報収集と助言
5. 予算及び決算書の精査
6. 会議・委員会会計の指導・支援
7. コンプライアンスに基づく各会議・委員会の事業及び議案の審査

新会員研修会議

1. 新会員に関する事項
2. 新会員研修会の企画・設営・実施
3. JCI 日本公認プログラム及び JCI セミナープログラムを活用した研修に関する事項
4. 2020 年の森に関する事項
5. 会員の指導力に関する事項

会員拡大プロジェクト

1. 会員拡大の実施推進
2. 会員拡大のための諸問題に関する調査研究及び情報の発信

会員開発委員会

1. 新年懇親会、納涼会、望年会・卒業式の企画・設営・実施
2. 会員及び委員会の表彰具申
3. 会員開発に関する事項
4. その他会員に関する一切の事項
5. 例会の企画・運営
6. 新会員研修会議への参画
7. 会員拡大プロジェクトへの参画
8. 広報に関して広報交流委員会との連携
9. 渉外に関する事項
10. SDG s の推進に関する事項
11. JCI 日本、中国地区協議会及び岡山ブロック協議会の委員会に関する事項

まちづくり委員会

1. 地域活性化のための諸問題に関する事業の企画・実施
2. 青少年、教育のための諸問題に関する事項
3. 例会の企画・運営
4. 新会員研修会議への参画
5. 会員拡大プロジェクトへの参画
6. 広報に関して広報交流委員会との連携
7. 渉外に関する事項
8. SDG s の推進に関する事項
9. JCI 日本、中国地区協議会及び岡山ブロック協議会の委員会に関する事項

広報交流委員会

1. 広報に関する事項
2. SNS を活用した広報活動の実施推進
3. (一社) 津山青年会議所ホームページの活用・運用
4. 地域、行政、他団体、各地 JC との情報交換及び交流の実施推進
5. 報道機関との連携及び PR 推進
6. 対外的行事に関する会合の連絡及び通知の発行
7. 会員の交流及び情報交換に関する事項
8. 例会の企画・運営
9. 新会員研修会議への参画
10. 会員拡大プロジェクトへの参画
11. 広報に関して各委員会との連携
12. 渉外に関する事項
13. SDG s の推進に関する事項
14. JCI 日本及び各地 JC との意見情報の交換及び蒐集
15. JCI 日本、中国地区協議会及び岡山ブロック協議会の委員会に関する事項

一般社団法人津山青年会議所 収支予算書
2023年1月1日から2023年12月31日まで

(単位:円)

科 目	2023年度	備 考
I 一般正味財産増減の部		
1. 経常増減の部		
(1) 経常収益		
受取入金	750,000	
受取入金金	750,000	50,000 × 15名
受取会費	5,625,000	
正会員受取会費(全期)	5,250,000	正会員23名、休会3名、特別顧問1名
正会員受取会費(後期入会者)	375,000	75,000円 × 5名
特別会員受取会費	0	
賛助会員受取会費	0	
事業収益	0	
登録料収益	0	
業務受託収入	0	
雑収入	0	
受取補助金等	0	
受取国庫補助金	0	
受取地方公共団体補助金	0	
受取民間補助金	0	
受取負担金	0	
受取負担金	0	
受取寄付金	180,000	
受取寄付金	180,000	JCボックス等
募金収益	0	
雑収益	593,000	
受取利息	1,000	
その他雑収入	28,000	OB会事務委託費、JCカード還元
津山市民憲章受託費	264,000	22,000 × 12ヶ月
OB会通信費	300,000	3,000 × 100名
経常収益計	7,148,000	
(2) 経常費用		
事業費	2,042,500	
会場設営費支出	0	
人件費支出	0	
会場費支出	0	
設営費支出	0	
企画・演出費支出	0	
演出費支出	0	
本部関係費支出	433,000	
設営費支出	0	
渉外費支出	433,000	津山JCに寄付料、岡山アソシエイト(役員)、野津大島
講師関係費支出	0	
記念品代支出	0	
資料作成費支出	0	
作成費支出	0	
保険料支出	0	
雑費支出	0	
委員会運営費支出	1,609,500	各会議体、委員会事業費

(単位:円)

科 目	2023年度	備 考
管理費	4,220,093	
会議費	724,400	理事会、次年度理事会、例会、各種会議体会議費、研究会会議費
役員報酬	0	
給料手当	1,010,000	
退職給付費用	0	
福利厚生費	0	
旅費交通費	0	
通信・発送費	300,000	電話代金等
消耗品費支出	320,000	
リース料支出	11,793	コピー機リース料
印刷製本費支出	530,000	報告書 名簿、あした
光熱水料費支出	96,000	電気代(12ヶ月)
賃借料支出	463,200	事務局・ルームの賃貸、商工会館公益費、JC倉庫の賃貸料
業務委託費支出	312,700	会社アドレス等印刷制作費、ホームページ制作料、ドメイン更新料等
インフォメーション関係費支出	10,000	津山朝日新聞社
渉外費支出	292,000	
雑支出	150,000	
負担金支出	629,403	
JCI負担金支出	66,378	1,794円/37名
日本JC負担金支出	215,000	日本JC会費30,000円、日本JC付加金5,000円/37名
地区協議会負担金支出	37,000	1,000円/37名
ブロック協議会負担金支出	92,500	2,500円/37名
国際協力資金支出	67,525	1,825円/37名
We Believe購読料支出	111,000	3,000円/37名
日本JC出向者負担金	40,000	20,000円/2名
経常費用計	6,891,996	
評価損益等調整前当期経常増減額	0	
基本財産評価損益等	0	
特定資産評価損益等	0	
投資有価証券評価損益等	0	
評価損益等計	0	
当期経常増減額	256,004	
2. 経常外増減の部		
(1) 経常外収益	0	
経常外収益計	0	
(2) 経常外費用	0	
経常外費用計	0	
当期経常外増減額	0	
他会計振替額	0	
当期一般正味財産増減額	256,004	
一般正味財産期首残高	10,266,532	
一般正味財産期末残高	10,522,536	
II 指定正味財産増減の部	0	
当期指定正味財産増減額	0	
指定正味財産期首残高	0	
指定正味財産期末残高	0	
III 正味財産残高	10,522,536	

